

(題字：福島小学校 1年 むらた みおひさん)

議会活動のあしあと

これからの4年間につなげる



議会HP



ここがききたい！

● 一般質問（6月会議）

10
ページ

2031年に向けた8年間

● 第6次総合計画策定調査特別委員会

16
ページ

おはなし、きかせてください！

● 町内団体との懇談会

18
ページ

ふくしま ふくしま

1年 むらた みとさん

1年 よしざわ ゆうまさん

ふくしま ふくしま

1年 ふじむら かなたさん

1年 ふくい ひよりさん

のあしあと

令和元年9月
～令和5年8月

○審議した議案の状況（R元.9～R5.7末まで）

（単位：件）

年 度	審 議 議案数	町長提出案件（計）			議会提出案件（計）		
		条 例	予算・決算	その他	条例改正	意 見	決 議
R 元	90	24	34	24	3	5	1
R 2	98	18	47	23	2	6	2
R 3	113	22	46	36	2	6	1
R 4	118	25	51	33	3	6	0
R 5	27	6	5	9	1	6	0
合 計	446	95	183	125	11	29	4

○議会の構成

※ 花田 勇議員は令和4年1月31日付けで勇退されました。

氏 名	所属委員会等
佐藤 孝男	経済福祉常任委員長 議会運営委員
平沼 昌平	議会運営委員長 経済福祉常任委員
木村 隆	総務教育常任委員
川村 明雄	総務教育常任委員長 議会運営委員
杉村 志朗	総務教育常任委員

氏 名	所属委員会等
藤山 大	経済福祉常任副委員長
小鹿 昭義	経済福祉常任委員 議会運営委員
平野 隆雄	副議長 総務教育常任副委員長 経済福祉常任委員
溝部 幸基	議長 総務教育常任委員 経済福祉常任委員

9 月 会 議

9月会議（9月12～18日）

- ・令和元年度決算審査
- ・マスク等の学校備蓄、白符地区の危険木除去に関する補正予算



12 月 会 議

12月会議（12月9日）

- ・新型コロナ対策予算補正（商工会主催年末抽選会等）
- ・ふるさと応援基金寄付額が増えたため予算補正



次の体制に つなぐ

議会活動

この4年間の議会活動を一般質問が行われる定例会を中心にまとめました。
重要案件は常任委員会・特別委員会で論点・争点を整理し、報告書として町に対
して提言（手交）しています。

4年間の活発な議会活動を抜粋して皆さんに改めてお知らせします。

また、詳しい会議資料や議事録、映像は議会のHPで見
ることができます。福島町議会は通年議会制をとっており、ほ
ぼ毎月議会または委員会を開催しています。

スマホでも
議会中継が
見られるよ！



議会HP
QRコード

トップページ



会議資料



議会白書



元年

委員会で調査した案件

総務教育
11/7、11/29

- ・地域防災計画の見直し
- ・第5次行政改革大綱
- ・指定管理者制度の導入
- ・岩部クルーズ事業計画
- ・危険木から町民の生命・財産を守る条例
- ・社会福祉協議会支援
- ・5次総合計画後期実施計画

経済福祉
11/6、11/8
11/22

9・12月会議

9月会議（9月1日）

- ・新体制決定（正副議長等）
- ・町長、正副議長の所信表明
- ・平成30年度決算審査

12月会議（12月11日）

- ・危険木から町民の生命・財産を守る条例
- ・会計年度任用職員条例

2年

委員会で調査した案件

総務教育
6/16、7/20
10/8、10/19
11/9、2/12

- ・新型コロナウイルス感染症対応事業
- ・学校給食の地元食材活用
- ・商業高校の今後のあり方
- ・選挙運動の公費負担条例
- ・デマンドバス利用料見直し
- ・アワビ陸上養殖の進捗状況
- ・町立診療所の経営状況
- ・吉岡温泉の今後のあり方
- ・種苗生産等施設整備事業

連合審査会
6/29、8/31

経済福祉
4/14、6/8、8/31
10/9、10/20
11/16、1/28、2/18

3・6月会議

3月会議（3月9～12日）

- ・令和2年度各会計予算審査
- ・がんばる地元企業応援条例廃止
→チャレンジスピリット応援条例
→地元企業雇用等促進条例

6月会議（6月22日）

- ・新型コロナウイルス感染症対策事業
- ・美山浄水場施設工事請負契約
- ・丸山町営住宅工事請負契約

夜間議会
9日



町民との
懇談会
2/3、10

のあしあと

令和元年9月
～令和5年8月

9月会議

9月会議（9月13～15日）

- ・令和2年度決算審査
- ・吉岡地区流雪溝のフタ、公園のグラウンドや遊具等を改修、更新の予算補正



団体との懇談会

- ・介護事業所 7/21
- ・商工会青年部女性部 11/11、12
- ・漁組青年部女性部 12/16、17

12月会議

12月会議（12月8日）

- ・議会にタブレット端末導入
- ・岩部地区交流センター条例改正（指定管理者制度導入）
- ・函バス維持奨励金交付事業
- ・冬のあったか応援給油券給付事業
- ・高齢者屋根雪降ろし助成金
- ・子育て世代への臨時特別給付金



9月会議

9月会議（9月13～15日）

- ・令和3年度決算審査
- ・大雨による治山水路法面工事
- ・会計年度職員の共済組合負担率変更に伴う増額
- ・吉岡温泉非常放送設備修繕工事
- ・町民プール屋根改修工事
- ・空家除却補助金追加

12月会議

12月会議（12月8日）

- ・種苗生産施設整備事業
- ・青少年交流センター（新潮学舎）設置条例制定
- ・吉岡温泉送泉ポンプ修理
- ・有害鳥獣処理施設実施設計委託予算
- ・電気料金高騰による各光熱水費補正
- ・給食センターの食材費増額補正

特別委員会

- ▶各年度 予算審査特別委員会（3月会議）・決算審査特別委員会（9月会議）
- ▶第5次総合計画後期実施計画策定に関する調査特別委員会（R元/9/24、10/4、11/8）
- ▶吉岡温泉整備事業に関する調査特別委員会（R4/3/29、8/3、12/27）
- ▶議会議員定数・議員歳費調査特別委員会（R4/12/27）
- ▶第6次総合計画策定調査特別委員会（R5/6/6）※継続審査中

現体制での議会運営は、本年8月31日までとなります。
この4年間、町民の皆さまに議会活動へのご理解を賜りましたことに深く感謝を申し上げます。

次の体制に つなぐ

議会活動

3年

委員会で調査した案件

総務教育

5/18、2/2
7/12、7/29
10/6
11/1、11/25

連合審査会

2/25

経済福祉

1/27、2/9、5/28
7/30、8/25、10/13
10/29、11/5、11/22

- ・高校の全国募集に向けた寮建設を調査
- ・吉岡小学校の今後のあり方
- ・行政手続きの簡略化
- ・国民健康保険事業の運営
- ・簡易水道料金の見直し
- ・家庭ごみ減量化のあり方



高校の学生寮（青少年交流センター）

3・6月会議

3月会議（3月8～11日）

- ・令和3年度予算審査
- ・選挙運動の公費負担条例

6月会議（6月21日）

- ・交流センター（新潮学舎）建設
- ・新たな福祉バス取得
- ・車庫整備（三岳地区）

夜間議会
3/8



町民との
懇談会
2/2～9

4年

委員会で調査した案件

総務教育

2/8、3/8、7/25
8/26、10/21、10/28
11/2、11/4、2/12

連合審査会

2/25、10/6

経済福祉

2/21、5/17、6/8
8/3、9/28、10/20
10/24、11/11、11/22
11/24、12/27

- ・町内会の現状と支援の方向性
- ・松前半島道路の取組み
- ・各大学包括連携事業の取組み
- ・有害鳥獣残滓減量化設備整備
- ・海岸環境施設（横綱ビーチ）
- ・除雪体制の現状と支援体制
- ・種苗生産施設の整備工事



町民との
懇談会
2/1～2
5/13～20



団体との懇談会

- ・文化団体協議会
- ・スポーツ協会 3/15、22

3・6月会議

3月会議（3月8～11日）

- ・令和4年度予算審査
- ・押印手続きの見直し
- ・議員選出監査委員の廃止

6月会議（6月20日）

- ・感染症対策（世帯、事業者支援）
- ・感染予防対策（南北駅伝・全国中学相撲大会）

夜間議会
3/8

5年

委員会で調査した案件

総務教育

2/10

- ・地域防災計画見直し
- ・職員定員適正化計画
- ・農業振興計画見直し

経済福祉

2/10



町民との
懇談会
2/2～9



団体との懇談会

- ・文化団体協議会 6/23
- ・農協、スポーツ協会 6/26
- ・商工会青年部 6/29

3・6月会議

3月会議（3月8～13日）

- ・令和5年度予算審査
- ・地域防災計画の一部変更

6月会議（6月21日）

- ・議員歳費条例一部改正
- ・インターネットサーバ取得
- ・出産祝金返還の訴えの提起

夜間議会
3/8

子育て世帯への 給付金支給が決定！

定例会 6 月会議は 6 月 21 日に開会し、議案 10 件、発委 7 件を審議し、いずれも原案の通り可決、1 件の報告を受け同日に休会しました。参加者は 3 名でした。

詳しい
資料は
こちら



町議会定例会
6 月会議

補正予算

令和 5 年度一般会計補正予算（第 3 号）

議会運営費

議会議員歳費・費用弁償等
条例の一部改正により議員歳費が増額となり、予算に不足が生じるため

304 万円追加

チャレンジスピリット応援事業費

今後の申請見込みにより予算に不足が見込まれるため

300 万円追加

低所得者世帯支援給付金給付事業費

住民税非課税世帯へ 1 世帯あたり 3 万円を給付するため

3 千 56 万 1 千円追加

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費

国・道の低所得世帯支援対象となる児童を対象に児童一人当たり 5 万円を給付するため

1 千 367 万 5 千円追加

自然災害防止事業費

白符大神宮横の地滑り点検調査業務委託等のため

91 万 9 千円追加

観光振興費

昨年と同規模での海峡花火大会を開催するため

400 万円追加

横綱の里づくり事業費

九重部屋の合宿で来町する力士が増えたことにより予算に不足が見込まれるため

115 万円追加

町営住宅整備事業費

住宅の維持管理に必要な小破修繕費に不足が見込まれるため

300 万円追加

空き家等対策支援事業費

申請件数が当初予定を上回り、予算に不足が見込まれるため

720 万円追加



質疑を行う佐藤議員



交通安全施設事業費

町道丸山団地2号線に新たな横断歩道等を設置するため
300万円追加



横断歩道の設置場所

高校魅力化推進事業費

青少年交流センターゲストルーム運営にかかるPRノベルティ費に不足が見込まれるため

2万4千円追加

連泊の際、部屋の清掃を辞退すると、青の洞窟サイダーをプレゼントしています。



意見交換を行う杉村議員



報告

令和4年度一般会計繰越明許費の報告

種苗生産等施設整備事業

8億5千600万円

(千円)

会 計 名	補 正 額	補正後の 予算総額
一 般 会 計 (第3号)	78,939	5,345,078
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計 (第1号)	277	734,415
国民健康保険診療所 特 別 会 計 (第1号)	74	111,186

条例の改正

こども家庭庁設置法施行関係条例の整理条例

こども家庭庁設置法が施行されたため、関係条例を改正整理

放課後児童健全育成事業の設備・運営基準条例の一部改正

放課後児童支援員資格の経過措置の延長に対応する改正

職員の特殊勤務手当条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に位置づけられたため、伝染病防疫作業手当の特例を廃止

訴訟手続

支払督促の申立てに係る訴えの提起

ふるさと暮らし応援条例による助成金の交付を受けた方が、町外への転居により受給資格を消失したため、返還を命令しているが、返還が滞り、自主的な返還が見込まれないため、支払い督促制度により、返還金を請求するものです。

◆訴訟手続と議会

町（地方自治体）が原告となつて訴訟を起こす場合、議会の議決が必要です。今回のように督促制度を活用し、異議申立により訴訟となつた場合は、原告が町となりますが、異議申立から裁判までの間に議会を開くことが難しいため、手続きの開始前にあらかじめ議決し対応することとなります。

返還が見込まれない返還金の状況

● 返還金債務者数 2件
● 請求理由 町外転出に伴う受給資格喪失による出産祝金返還金の未払い

● 未払返還金総額 113万5千円

計画の変更

第5次総合計画の変更

事業の追加や変更により、後期実施計画の一部を変更。（子育て世帯支援特別給付金事業等）

区分	総事業費 (千円)
変更前	7,828,300
追加	12,700
変更	37,300
変更後	7,878,300

財産の取得

(千円)

区分	内容
物品名	インターネット系サーバ等一式
方法	随意契約
金額	38,500千円
契約者	ファーストクラウド株式会社 代表取締役 佐々木 浩美

議会からの提出議案

議会議員歳費・費用弁償等の条例の一部改正

なり手不足対策として、議員歳費月額を増額するための改正

区分	歳費月額 (千円)
議員	216
委員長	233
副議長	257
議長	321

意見書の提出

● 日本政府に核兵器禁止条約への参加、調印・批准を求める意見書

● 地方財政の充実・強化に関する意見書

● 義務教育国庫負担制度堅持・負担率 $\frac{1}{2}$ への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充の実現に向けた意見書

● 道教委「これからの高校づくりに関する指針」を見直しすべてのこどもに豊かな学びを保証する高校教育を求める意見書

● 令和5年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

● ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

議会議員歳費・費用弁償等の 条例の一部改正に対する反対討論

今回の議会提案に至るまでの経過については議会だより
ふくしま138号をご覧ください。

動画は
こちら



反対討論（木村 隆議員）（抜粋）

高齢化に伴うなり手不足、女性議員もいないということで、対策として報酬を上げることになりますが、今回は反対させていただきます。

理由としては、国会議員のみならず地方議員も他の仕事や年金など別な収入を得ながら議会活動ができます。私が議員になった時、13万1千円の報酬でした。それでも立候補したわけです。それは議員報酬が魅力で立候補したわけではありません。自分の人生として政治にチャレンジしたいという気持ちだけでした。その上で、福島町算定方式のもと、現在の報酬まで上げていただきました。大変ありがたく思っております。ですから、それでいいのではないかと考えております。

ただ報酬を上げただけでは、財政規模も小さくなっていく、人口も減っていくという中で、議会費が4年で2,600万円増えていくだけになります。

定数を減らし、議員の仕事量も増やし、この算定方式を変えていくのであれば、賛成したいと思いましたが、今回は賛成しないことにします。

採決の結果

賛成 6名、反対 2名

賛成多数により可決

全国町村議会議長会による 議員表彰



全道町村議会議長会より自治功労者として
川村議員が表彰され、定例会6月会議開始前
に、溝部議長より表彰状が伝達されました。

全道町村議会議長会による 議会広報コンクール入選



当町の議会だより137号（令和5年2月号）
が、第43回北海道町村議会広報コンクール
で入選しました。これからもわかりやすい議
会だよりを目指してまいります。

定例会 6月会議 一般質問



4名の議員から4問の一般質問があり、町の対応や考え方をいただきました。

❗ 一般質問とは、議員が町長(執行機関)に対して、事務の執行状況や方針について質問したり、報告、説明を求めることを言います。



動画は
こちら



問

一般家庭向けに電気柵補助の考えは

答

現段階で助成拡大は考えていない

藤山 大議員

北海道ではクマ・シカによる人的被害、農作物被害が増加傾向にあり、福島町も例外ではない。

農業者向けの電気柵購入助成事業と並行して一般家庭向けの購入費用補助を考えていただきたい。

未設置の耕作農地や家庭菜園における電気柵はクマやシカから人命・財産を守る効果的な手段の一つとして考慮すべきと考えるが、町長の見解は。

鳴海町長

家庭菜園の多くの方々は自己防衛の中で被害を抑制する努力を行っている。複数人での作業や、危険と思われる場所には近づくかない行動が大事である旨の注意喚起を行っており、現段階では私的な個人への助成拡大は考えていない。

ヒグマに遭遇した場合や未然防止対策について広報で毎年周知しているが、住民講習会については、渡島総合振興局と連携を図り開催を調整している。



動画は
こちら



問

企業誘致のあり方と
定住促進に向けた環境は

答

新たな事業の掘り起こしを模索
青少年交流センター等を活用

小鹿 昭義議員

テレワークは一般化されつつあり、いずれは主流となりえると感じている。当町の企業誘致に対しても都市部にはない山・海などの魅力と安心安全な生活環境を前面に出し、テレワークによる新たな展開が可能であり、それが定住促進の一助になると考えることから次の点について伺う。

- ・当町のこれからの企業誘致活動対策はどうか
- ・テレワーク推進を検討している企業に対する広報活動についての考え
- ・定住促進に向けてチョット移住を進める周辺環境のあり方

鳴海町長

1点目については包括連携協定を結んでいるクミアイ化学工業(株)や関連企業などと連携をとりながら、新たな事業の掘り起こしを模索する。2点目については現在ホームページ掲載など積極的な広報活動は行っていないが、来町する企業の職員が青少年交流センターのゲストルームを利用しテレワークを実施している状況もあり、引き続き関連企業への働きかけを中心とした活動を進める。3点目については青少年交流センターのゲストルームを利用して移住体験者を受入れることが可能となったので、体験者のニーズに応えるよう努めていく。



動画は
こちら



問

福島町の課題考察と3つの提言

答

移住促進引越支援助成を創設している
各種施策を維持していく

川村 明雄議員

当町には少子高齢化による多くの課題があるが、3つの事案について提言する。

- ① 中古住宅等の購入者に対する補助、リフォーム補助について、基準額や補助額の見直しを行い、**引越し新町民受入助成金の検討**
- ② 卒業後の返済や免除も考慮しながら安心した就学を続けるため、**専門学校等への進学者に対する全額給付の実現**
- ③ 道内でも副町長を置かない自治体もある。上記①、②の実現と、現在の町民負担や生活実態、限界自治体の状況から、**特別職のあり方を検討すべきでは**

鳴海町長

- ① 令和5年3月に福島町に移住しようとする方を対象に「福島町移住促進引越支援助成金」を創設している。
- ② これまでどおり、町民が希望する場合、無利子の福島町奨学資金等により進学に対する支援を行っていきたいと考えている。
- ③ 副町長1期4年間の給与費は約4,100万円となっている。人口減少が進む中、限られた職員数で諸課題に対応するとともに、職員の負担が過大とならないよう、事務事業の統括にあたる副町長の役割は欠かすことはできないものと認識している。



動画は
こちら



問

当町の少子化対策の検証は

答

効果が表れており、今後も継続する

平沼 昌平議員

町長就任以来、国の対策に先駆けて積極的に少子化対策を講じてきた。**今までの施策をどの様に検証し、新たな施策を講じていくのか。**第6次総合計画前期4年間にどのような素案を組み込み、当町独自の子育て支援や出生率向上を図るのか伺う。

新型コロナが第5類へ移行した社会環境の変化や、いまだ続くウクライナ侵攻による物価高騰の中で、**子育て家族に対する支援の検証と対応についても見解を伺う。**

鳴海町長

平成24年4月以降に出生した子どもは、延べ172名、内43名が第3子以降で、出産祝い金事業の効果が表れていると考えている。なお、令和2年10月1日の人口推計値3,742人に対し、実績が3,881人と上回っており、今後も現在の各種政策を続けていく方向で計画している。

物価高騰の影響を受ける子育て世帯への支援と検証は基本的に国の制度を活用した支援を行っている。加えてこの度の電気料金、食料品等の急激な物価上昇は生活を直撃しており、町単独での支援を実施する。

新 吉岡温泉・定住向け住宅の 建設契約を締結！

定例会 5 月会議は 5 月 18 日に開会し、同日休会しました。

議案 4 件を審議し、原案の通り可決しました。
参画者は 2 名でした。

詳しい
資料は
こちら



町議会定例会

5 月会議

◎ 工 事 請 負 契 約 内 容

区 分	内 容			
工事名	吉岡温泉建築主体	吉岡温泉電気設備	吉岡温泉機械設備	定住向け町有住宅 (2号棟) 建築主体
方 法	指名競争入札	指名競争入札	指名競争入札	指名競争入札
金 額	571,450,000円	109,472,000円	324,940,000円	77,099,000円
契約者	金澤建設・森川組・ インテリア小笠原特定 建設工事共同企業体 代表者 (株)金澤建設 代表取締役 金澤 淳悦	桧山・花田特定建 設工事共同企業体 代表者 (株)桧山電気工業 代表取締役 国仙 勝彦	金澤・ニシカワ 特定建設工事共 同企業体 代表者 (株)金澤建設 代表取締役 金澤 淳悦	古谷・松岡経営 建設共同企業体 代表者 (有)古谷建設 代表取締役 古谷 貴志

契約締結

有害鳥獣処理施設の 減容化装置等を購入

定例会 7 月会議は 7 月 10 日に開会し、同日に休会しました。

議案 2 件を審議し、原案の通り可決しました。
参画者は 2 名でした。

詳しい
資料は
こちら



町議会定例会

7 月会議

読めば読むほど
詳しくなれる！

するめコラム ⑧ “減容化”って何？

捕獲した鳥獣の容積（量）を減らすために行う処理のことです。燃やす、溶かすなどの処理方法がありますが、今回購入した装置では微生物による分解処理をします。

区 分	内 容	
物品名	福祉バス	有害鳥獣処理施設 減容化装置等
方 法	指名競争入札	随意契約
金 額	12,797,788円	57,420,000円
契約者	(有)上嶋環境営繕 代表取締役 上嶋 利洋	(株)BOD商会 代表取締役 高原 正樹

財産の取得

各議案の審議結果

6月会議採決の様子

- ・賛成が○、反対は×、病欠は△、欠席は欠と表示しています。
- ・溝部幸基議長は採決には加わりません。

会議名	議案番号	議 案	佐藤孝男	平沼昌平	木村隆	川村明雄	杉村志朗	藤山大	小鹿昭義	平野隆雄	審査結果
5月会議 (5月18日)	6	吉岡温泉建設工事の内 建築主体工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	7	吉岡温泉建設工事の内 電気設備工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	
	8	吉岡温泉建設工事の内 機械設備工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	
	9	定住向け町有住宅（2号棟） 建築主体工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	
6月会議 (6月21日)	10	こども家庭庁設置法施行関係条例の整理条例	○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	11	職員の特殊勤務手当条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	12	放課後児童健全育成事業の設備・運営基準条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	
	13	第5次総合計画の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	
	14	財産（インターネット系サーバ等）の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	
	15	支払督促の申立てに係る訴えの提起①	○	○	○	○	○	○	○	○	
	16	支払督促の申立てに係る訴えの提起②	○	○	○	○	○	○	○	○	
	17	令和5年度一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	18	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	19	令和5年度国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	
	報告1	令和4年度一般会計繰越明許費の報告	○	○	○	○	○	○	○	○	報告済
	発委1	議会議員歳費・費用弁償等条例の一部改正	○	○	×	○	○	×	○	○	原案 可決
	発委2	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	
	発委3	地方財政の充実・強化に関する意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	
	発委4	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充の実現に向けた意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	

会議名	議案番号	議 案	議員名	佐藤孝男	平沼昌平	木村隆	川村明雄	杉村志朗	藤山 大	小鹿昭義	平野隆雄	審査結果
6月会議 (6月21日)	発委 5	道教委「これからの高校づくりに関する指針」を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	発委 6	令和5年度北海道最低賃金改正等に関する意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	
	発委 7	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	
7月会議 (7月10日)	20	財産（福島町福祉バス）の取得		○	○	○	○	○	○	○	○	原案 可決
	21	財産（有害鳥獣処理施設減容化装置等）の取得		○	○	○	○	○	○	○	○	

文書質問

白符の荒馬について

小鹿議員

白符の荒馬は、福島町の無形文化財になっています。

ここ数年、新型コロナウイルスの影響で活動が停止していますが、活動を再開するにしても白符地区の児童数の減少による踊り手不足や、高齢化による保存会員の減少が起こっており、このままでは荒馬の活動停止が危惧されます。

町は、白符の荒馬の事をどの様に考えているのか、伺います。



白符荒馬踊の様子

回 答

鳴海町長

町民共有の財産ともいうべき文化財の一つです。文化財の保存と活用は、地域住民や保存会、行政などが協働して取り組むことが重要です。

少子高齢化の影響による問題は承知しているところでありますので、様々な面からの支援を検討し、白符地区のみならず多様な方が参画できるようすそ野を広げ、文化財の伝承が地域の誇りとして醸成できるよう取り組んでまいります。

小野寺教育長

当町の貴重な文化財の一つです。これまで活動経費補助を行ってきましたが、今後は保存会や小学校と相談しながら、子供たちに郷土芸能を広く知っていただき、演技者拡大を目的とした「白符荒馬踊の体験会」を企画するなどの支援を行ってまいりたいと考えております。

議会だより138号 掲載内容の訂正とお詫び

「議会だより138号」の掲載内容に次の誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正いたします。

- 20ページ：会議等出席状況内
「5月14日 女だけの相撲大会」の出欠欄
誤：藤山議員：二
正：藤山議員：○

令和5年度 第1回議会基本条例諮問会議

— 令和5年5月15日開催 —

詳しい資料は
議会HP



第1回会議を開催しました！

5月15日に開催しました。審議、調査を行った内容は次のとおりです。

- ◆議会評価（令和4年度分）の検討
 - ◆議会基本条例見直しに伴う行動計画（令和4年度分）の確認
 - ◆議会費の標準額の見直しについて
- ・議会運営委員会による議会評価は適正
 - ・議会費の標準額見直しはタブレットの導入によるものと理解する

町内団体と議員との懇談会について、議会側から積極的に声かけを行ってほしいという意見があったため、実施に向けて調整することを確認しました。

6月23日、26日、30日に4団体との懇談会を実施しました。18～21ページで内容を紹介しています。

教えて！

ぎかいのコトバ 諮問会議



議会の活動に対して

町民の目線で意見を伝える役割があります。
議会基本条例に基づく議会の付属機関として、次の事項について検討します。

- ◆基本条例の見直し
- ◆議員定数・歳費
- ◆議会評価 ほか

今年度も3回の開催を予定し、議長から諮問された事項について審議・答申します。

昨年に引き続き、10名の委員と専門知識を有する顧問1名により会議の充実を図ってまいります。

（委員委嘱期間：令和4年4月1日～令和6年3月31日まで2年間）

氏名	区分	推薦団体
本庄 丈晴	産業関係 団体推薦	水産加工振興協議会
今井 隆		農業協同組合
清水 紘太		商工会青年部
星野眞紀子		// 女性部
阿部 祐介		漁業協同組合吉岡地区青年部
對馬 大輔		// 福島地区青年部
松村江身子		// 吉岡地区女性部
山本 悦子	教育関係 団体推薦	文化団体協議会
◎極壇 忠男		スポーツ協会
阿部 昌彦	公募	

氏名	区分
神原 勝	北海道大学名誉教授

今後のスケジュール

【第2回】 R5.10.2(月)
第1回会議の確認、常任委員会所管
事務調査、今後の進め方

【第3回】 R5.11.6(月)
第2回会議の確認、協議事項、
答申書

【答申書提出】 R5.12.1(金)



問 SDGsへの対応は？

町の施策とSDGsの関係を明確にして計画に載せる場合、具体的な目標値の設定なども必要になってくと思うが、どのように考えているのか。

答 町民に考え方を周知する

SDGsは国際的な目標であり、例えば「貧困をなくそう」といった大きな目標となっているため、具体的な目標値の設定までは考えていない。

意 SDGsへの理解について

SDGsに対する理解はまだまだ十分とはいえない。
具体的に進める部分については、町民に対して繰り返し分かりやすく説明すること。

答 周知のためにも計画に盛り込む

SDGsという言葉自体は新聞やテレビで目にしていると思うが、まだ十分な認知はされていないと考えている。
町の中にもSDGsにするものがあるということを周知する意味も込めて今回の計画に掲載する。

意 資料の中にカタカナ用語が多い

「サプライチェーン」や「ブラッシュアップ」など、なじみの薄い言葉については日本語への言い換えや、用語解説ページを作るなど、わかりやすい資料づくりの工夫を。

答 わかりやすい資料作成に努める

「該当ページに注釈を入れる」、「解説用のページを確保する」いずれかの方法でわかりやすい計画書にしていきたいと考えている。

※サプライチェーン：製品の原材料・部品の調達、製造、在庫管理、配送、販売、消費までの流れ
ブラッシュアップ：より良くする、磨きをかける、完成度を高める

【委員会意見中間報告】

計画策定にあたって示された資料等を見ると、カタカナ用語を多用している印象を受ける。町民が理解しづらい用語については、用語の解説を追加する等の工夫が必要であると考えるため検討願いたい。

町の施策分野とSDGsとの関連性について掲載するにあたっては、取組み方法の目標設定等が必要となると考えられるため、町が取り組む部分、町民が取り組む部分、協働で対応していく部分等について対応を連動させる仕組みを整理していくよう検討願いたい。

第6次総合計画策定 調査特別委員会レポート

— 令和5年6月6日開催 —

詳しい資料は
議会HP



第6次総合計画策定調査特別委員会って？



総合計画はまちづくりにおける重要な計画です。

第5次総合計画の計画期間が令和5年度で終了することから、新たに第6次総合計画の策定に向けた作業を進めています。本特別委員会はその内容について集中的に調査・審議を行うために設置されたものです。今回は町側から序論から基本構想までの案について説明を受けました。

- 計画の目的
- 概要
- 策定の方法と体制
- 基本構想（案）
- 今後の策定スケジュール

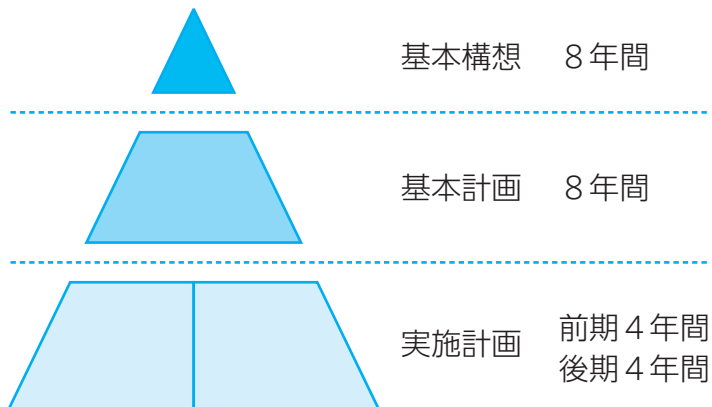
策定スケジュール

8月から10月にかけて基本計画・前期4年間の事業実施計画を策定。
定例会12月会議での提出を予定。

総合計画とは

「町民」、「議会」、「役場」がお互いに協力し、協働のまちづくりを進めていくための最も重要な計画です。

総合計画の期間は8年間となっており、第6次総合計画は令和6年～13年です。



町民の参画

幅広い町民の意見や提案を反映した計画にするため、住民意識調査、中高生アンケート、関係団体からのヒアリング、パブリックコメントを実施し、策定段階における町民参画を推進しています。パブリックコメントは今後実施予定です。

※ヒアリング：意見の聴き取りと説明を兼ねた会議、聞き取り調査

※パブリックコメント：政策等の策定途中で、計画等の素案を公表し、それに対して意見、課題、問題点、情報等を受け付け、提出された意見等を考慮して政策等を決定していき、寄せられた意見に対する町の考え方を公表する制度

町内文化団体との懇談会

広報広聴常任委員会総務教育部会

— 令和5年6月23日開催 —

詳しい
資料は
こちら



部会長	川村 明雄
副部会長	平野 隆雄
委員	杉村 志朗
	溝部 幸基



年齢を問わず
交流できる環境を作り、
活動の輪を広げていきたい

団体の現状と課題は？

昨年、数年ぶりに町民文化祭を開催することができました。コロナ禍により開催を見合わせていましたが、再開できて嬉しく思います。新たに若い世代の参加もあり、新鮮な雰囲気になりました。

町民文化祭は各種文化団体が主体となって開催運営を行っています。人口減少や高齢化に伴い団体に所属する人数が減少し、主体的な運営が難しくなっています。

多くの団体で共通している課題は、人口減少や高齢化による加入者の減少と、活動の場が少ないことです。活動の場を広げるため、敬老会等の町内行事で力になりたいと考えている団体もあります。

協議会としては、各団体の状況を確認するためにも、話し合いの機会を設け、文化活動の継続と発展のため協力しあえる体制づくりを進めていきたいと思っています。



【総合文化部】

福島商業高校の部活動。書道、写真、イラスト、軽音楽、ダンスなど幅広く、部員一人ひとりが好きな分野で活動している。全校生徒28人中19人が所属。

生徒が参加・発表できる場が少ないため、町民・町・高校生が関われる場を作りたい。

卒業後も生徒が町に残り、福島町での文化活動に関わり続け、町の文化を発展させる財産となればと考えている。

【You more.】(ユーモア)

高校卒業後から4人で活動している軽音楽バンド。コロナ禍で活動する場がなく困っていたが、昨年初めて町民文化祭に参加。勝手がわからないながらも、他団体の方々の助けを借りてステージに立つことができた。町内に住む若い世代へのアピールが自分たちの役割の一つだと考えている。

注目!!
若人の活動!

農業協同組合との懇談会

広報広聴常任委員会経済福祉部会

— 令和5年6月26日開催 —

詳しい
資料は
こちら



部会長	佐藤 孝男
副部長	藤山 大
委員	平沼 昌平
	小鹿 昭義
	平野 隆雄
	溝部 幸基



担い手不足解消に “食べていける農業”を

団体の現状と課題は？

高齢化が深刻で、後継者がいない方も多い状況です。機械の老朽化も進み、特に主要作物である稲作で使用する乾燥・精米用機械の老朽化が酷いため、共同で購入できないか検討しています。

新たに農業を始めた方が農業収入だけで生活するのが難しいのも課題です。担い手や後継者不足を解消するためには、農業収入を増やし、“食べていける農業”にしなければいけません。

作物に付加価値をつける、販売ルートの開拓を行う等の方法も考えられますが、個人で行うには限界があります。将来的には農業法人や集落営農ができればと考えていますが、道半ばです。

横綱しいたけについても、年々原木の確保が難しくなり、値段も高騰し、良質な原木入手が困難となっているなど様々な課題を抱えています。



夏は農業による収入がないため、他の仕事をかけもちしています。

物価上昇により、肥料は8割、農薬は2割、資材は4割ほど高騰していますが、価格に反映させては買い手がつかなくなるため、経営が苦しくなっています。

町内で生産された野菜の販売所は建物がとても小さい上、出入口が一つしかなく、2、3人で身動きが取れなくなってしまうそうです。お客さんが快適に買い物できる建物にできないか検討しています。

大変な状況ではありますが、福島町で農業を続けていくため、今まで以上に協力しあっていきたいと思っています。



町内スポーツ団体との懇談会

広報広聴常任委員会総務教育部会

— 令和5年6月26日開催 —

詳しい
資料は
こちら



部会長	川村 明雄
副部会長	平野 隆雄
委員	木村 隆
	杉村 志朗
	溝部 幸基



子供たちが
安心してスポーツに
参加できる環境を

団体の現状と課題は？

人口減少と少子高齢化により、野球やサッカー等の団体競技が難しくなっています。

しかし、各種目の少年団や社会人野球等では、近隣町との合同チームによる試合出場や、大会方式の見直しといった柔軟な対応によって活動を維持しています。

コロナ禍による制限が徐々に緩和され、全道・全国規模の大会へ出場する機会も増えてきました。しかし、宿泊料金や大会参加費等の金銭負担がコロナ禍前に比べて増えています。町からの助成制度について、現状に合った形に見直してもらえるとありがたいです。

子どもがスポーツをしたいと希望しても、金銭面等の負担から保護者が難色を示すケースもあり、スポーツをしたい子の気持ちをできる限り叶えてあげたいと思っています。



学校の部活動の指導を地域に移行する動きがありますが、十分な受け皿がなく、指導者の確保が必要になります。

課題が山積みですが、子供たちが安心してスポーツに参加し、大人も楽しく活動できる環境づくりに向けて議論を深め、活動していきたいと考えています。



商工会青年部との懇談会

広報広聴常任委員会経済福祉部会

— 令和5年6月29日開催 —

詳しい
資料は
こちら



部会長	佐藤 孝男
副部長	藤山 大
委員	平沼 昌平
	小鹿 昭義
	平野 隆雄
	溝部 幸基



町内の団体と連携して、
活動を広げていきたい

団体の現状と課題は？

町内外のイベントへの出店、雪まつりや夏祭りといった町内イベントの主催等を行っています。雪まつりは町外から家族で遊びに来ているケースもありました。子ども達は雪の中で思いっきり遊ぶことができ、家族は子どもの姿を見て楽しめるイベントになりました。

岩部クルーズ等の活動により町を訪れる人が増えてきましたが、クルーズと記念館を見て終わり、となっているのが実情です。最近、全国的に流行しているキャンプにも注目し、「キャンプができる環境を整備できないか？」と模索しています。

町内経済を活性化させるためにも、町内事業者の商品を売買できる大きな売り場の必要性を強く感じています。



様々な活動を実施、模索していますが、部員数が減少しており、後継者もいないことから活動を継続していくことができないのか不安があります。

新しい部員を勧誘しようにも、後継者のいない事業者が多いのです。部員の少なさという課題を抱えていますが、人数さえ確保できれば実施できる活動も増えていくので、漁組等の他団体と連携した取り組みができるよう交流を図っていければと考えています。



全道議員研修会レポート

— 令和5年7月4日開催 —

北海道町村議長会主催の全道議員研修会が札幌コンベンションセンターで開催され、議員8名が参加しました。

全道から町村議会議員など関係者が多数集まり、講師2名の講演による研修をしました。



会場の様子

講演 ①

「ウクライナ危機後の世界と日本」

講師 ひょうご震災記念21世紀研究機構
理事長 いおき べ 五百旗頭 真 氏

- ウクライナ危機から日本人が変わった。普段政治や国防に関心のない方々からも危機感のある声を聴くようになった。
- 日本は攻められないために備える必要がある。そのためには自助努力、諸外国との連携、国際世論での存在感が重要。



研修に参加した議員

講演 ②

「日本政治の舞台裏」

講師 政治ジャーナリスト
田崎 史郎 氏

- 現政権が考える日本の危機は「安全保障」と「少子化」であり、防衛費の増や育児休業制度の充実といった対策を行っている。
- 政治の世界でも普段からの人間関係が大切。日頃から他者の助けとなるように行動していれば、いざという時に協力してもらうことができる。

議会では「議会議員研修条例」を定めており、研修に参加した議員は、成果報告書を議長へ提出し、定例会で報告されます。今回の研修については「定例会9月会議」で報告する予定となっております。

会議等出席状況

会議や議会へ通知があった行事等の6月から7月までの出席状況をお知らせします。

「○」は出席、「×」は欠席、「－」は出席不要・任意、「◎」は委員外議員として出席、「△」は別公務・病欠のため、「職」は正副議長の職務出席を表しています。

年 月 日	会 議 ・ 行 事 名	佐藤	平沼	木村	川村	杉村	藤山	小鹿	平野	溝部
6月1日	原水爆禁止平和大行進	－	－	－	－	－	－	－	－	○
3日	福島小学校運動会	○	－	○	－	－	○	○	－	○
6日	第6次総合計画策定調査特別委員会	○	○	×	○	○	○	○	○	職
	総務教育常任委員会	－	－	×	○	○	－	－	○	○
	経済福祉常任委員会	○	○	－	－	－	○	○	○	○
8日	老人クラブ連合会総会	－	－	－	－	－	－	－	－	○
11日	福島消防団総合訓練大会	○	○	－	○	○	○	○	○	○
12日	正副議長議案説明	－	－	－	－	－	－	－	○	○
	福島町まちづくり工房総会	－	－	－	－	－	－	－	－	○
13日	一般質問通告	－	○	－	○	－	○	○	－	職
	議会運営委員会（6月会議の運営）	○	○	－	○	－	－	○	職	職
14日	渡島議長会臨時総会（札幌市）	－	－	－	－	－	－	－	－	○
15日	北海道町村議会議長会総会、議長・事務局長研修会（札幌市）	－	－	－	－	－	－	－	－	○
19日	議員勉強会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20日	視察受入（宮城県仙南・亘理地方町議長会）	－	○	－	－	－	－	－	○	○
21日	定例会6月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（6月会議の反省事項）	○	○	－	○	－	－	○	職	職
23日	広報広聴常任委員会（文化団体協議会との懇談会）	－	－	×	○	○	－	－	○	○
24日	保育所運動会	－	－	－	－	－	－	－	－	○
25日	渡島地方消防総合訓練大会（八雲町）	－	－	○	－	－	－	－	－	○
26日	自衛隊家族会総会	－	－	－	－	－	－	－	－	○
	広報広聴常任委員会（農業協同組合との懇談会）	○	○	－	－	－	○	○	○	○
	広報広聴常任委員会（スポーツ協会との懇談会）	－	－	○	○	○	－	－	○	○
27日	渡島開発期成会札幌要望（札幌市）	－	－	－	－	－	－	－	－	○
	道南地区森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡会役員会（木古内町）	○	－	－	－	－	－	－	－	－
29日	広報広聴常任委員会（商工会青年部との懇談会）	○	○	－	－	－	○	○	○	○
7月4日	全道町村議員研修会	○	○	○	×	○	○	○	○	○
10日	議会運営委員会（7月会議の運営）	○	○	－	○	－	－	○	職	職
	定例会7月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（7月会議の反省事項）	○	○	－	○	－	－	○	職	職
	森林・林業・林産業活性化議員連盟臨時総会	○	○	○	○	－	○	○	○	○
	議員会臨時総会	○	○	－	○	－	○	○	○	○
	第2青函トンネル構想を実現する会総会	○	－	－	－	○	○	○	－	○
16日	千代の富士杯相撲大会	－	－	－	－	－	－	○	○	○
18日	渡島西部広域事務組合議会第1回臨時会	○	－	－	－	○	－	－	－	○
19日	視察受入（岩手県八幡平市議会）	－	○	－	－	－	－	－	○	○
20日	議会運営委員会（議会だより）	○	○	－	○	－	－	○	職	職
	戦没者追悼式	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27日	渡島総合開発期成会中央要望（東京都）	－	－	－	－	－	－	－	－	○
29日	自治体問題研究会：新人議員研修会（議長出講）	－	－	－	－	－	－	－	－	○

23 福島町議会だより

－ 第139号 令和5年8月1日発行 －

町民の声

町内会活動について



三岳第1町内会長

中塚 雅美

私は三岳第1町内会長の中塚と申します。

町内会長になって13年目、副会長と合わせて20年以上町内会活動に携わってまいりました。

町内会活動は、会員の協力・理解がなければスムーズにできません。

近年は、少子高齢化もありなかなか思うようにできない活動もあります。

コロナにより総会は飲食をとまなわれない形になり、会員のコミュニケーションもとりづらく、役員のなり手不足もあり、活動しづらい状況が続いております。

厳しい状況ですが、議会でも議員のなり手不足で定数割れの可能性があると聞き気になっております。

私もできる限り、活動していきませんが、町内会活動にみんな協力して、これからの福島町を良い町にしていかなければと思っています。

議員の雑感

議員になって4年



経済福祉常任委員

小鹿 昭義

議会議員になり、早いもので4年が過ぎようとしています。

令和2年、新型コロナウイルス感染症が流行し始め、令和4年3月にはロシアがウクライナに侵攻した事がきっかけとなった戦争が始まり、世界的な混乱となりました。

その為、石油等の物価上昇や円安の影響も重なり、一般町民の生活は大変厳しいものとなってまいりました。

私自身、行動が自粛される議員活動の中で、町民の目線に立ち、同僚町議・町職員と共に話し合い町民の為になるのかならないのかを見極め、多くの課題に取り組んで参りました。

まだまだ未熟ではありますが、福島町民がもっと安心して、安全に暮らせる町にしていきたいと考えております。

主な会議・行事予定

8月

● 町長・町議会議員選挙

15日(火)

● 美瑛町議会視察受入

22日(火) 午後1時～

議員控室

初議会

9月1日(金)

午前10時～

議会議場

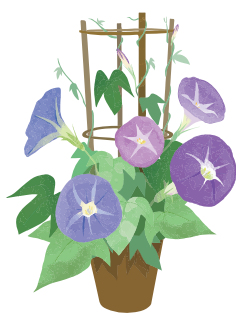


編集後記

コロナが沈静化し、今年は九重部屋の夏合宿が再開されます。町中にびんつけ油の香りが漂いお相撲さんの姿を見かける福島町の夏が戻ってきます。町民と力士どちらにとっても楽しく実りある夏になることを期待しています。

8月15日には町議会議員選挙が行われ、新体制での議会活動がスタートします。議会の活動をより知っていただくために、議会だよりにQRコードを掲載しました。会議資料や映像など、議会HPに掲載している資料をスマートフォンで読み取りご覧いただくことができます、ぜひご利用ください。

12月発行の「議会だよりふくしま」では、定例会9月会議を中心に紹介する予定です。



北方領土返還要求運動
シンボル「千島桜」